

本日は、愛知県立中村高等学校の創立70周年記念式典を挙げるにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

この喜ばしい日にPTA会長として、また36回卒業生として参加できた事は感慨無量な思いでいっぱいです。

70周年記念誌に私の思いをつづらせていただきましたが、在校生の皆さんを前にしてお話ししたいことがあります。まず、質問です。皆さんはこの中村高校での生活に対してどのような気持ちで臨んでいますか。3年間という限られた時間の中ですが、ここで得られるものは知識・心の成長・身体の成長・人とのきずななど、かけがえのないものばかりです。しかしこれらは誰かから与えられるものではないので、待っていては何も得られません。何事にも自らすすんで取り組む姿勢を養ってほしいと思います。その原動力となるものは何でしょう。それは好奇心と情熱です。

私たちをとりまく世界は、広大で奥深く常に変化し続けています。まだまだ知らない事、経験していない事がたくさんあるはず。それらを人生の糧として、挑戦し続ける姿は素晴らしいものです。「なせば成る。なさねば成らぬ何事も、成らぬは人のなさぬなりけり。」という歌があります。意味は「やればできる。何事も、やらなければできない。できないのはやろうとしないからだ」となります。結果や周囲の意見を気にするあまり行動に移せない事はありますが、勇気を出して諦めず強い意志を持ちましょう。そこには年齢や性別の違いなど関係ありません。

在校生であっても、卒業生であっても共にこころざしを忘れる事なく今を精一杯がんばっていきましょう。そしてこれからの中村高校の歴史を共に築いてまいりましょう。

最後になりましたが、本日の記念行事の為にご助力頂きました実行委員会の皆様に心より感謝申し上げます。

令和4年10月28日

創立70周年記念事業実行委員会委員長 酒井 英樹